



伊豆市

# 議会だより

No.14

発行：伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集：議会報編集特別委員会  
〒410-3292 静岡県伊豆市市山550 TEL 0558-85-2606 2007.11.1発行



アンカー勝負で大接戦！応援にも力が入りました。（橘保育園で）

## 目次

CONTENTS

- 議員定数の削減 ..... 2
- 9月定例会の概要 ..... 3
- 行政改革特別委員会最終報告 ..... 7
- 一般質問 ..... 8
- 委員会活動報告 ..... 13
- 市議会傍聴アンケート ..... 14

# 議員定数20人とすることに賛成15 反対7 で可決

## ● 提出案

伊豆市議会の議員の定数を定める条例

地方自治法第91条第1項の規定に基づき、伊豆市議会の議員の定数は、20人とする。

附則 この条例は、次の一般選挙より施行する。

## ● 議案の提案理由

行政改革特別委員会の議員定数見直しに関する検討結果は、合併協議会で決定している22人に対して、2人減の20人にすべきとの意見を、委員7人中5人が占め、議員提案として上程しました。この結論を引き出すにあたり、函南町議会に出向き、定数を20人から18人に減らした経緯について調査しました。さらに、全国の伊豆市と同規模の合併で誕生した市の状況、静岡県下全市議会及び静岡県東部全議会の状況についても、調査するなどの経過を踏まえ検討しました。その結果、人口、面積、財政力、近隣議会の状況と、市民の声を加味すべきとの基本方針が合意され、全国的な議員削減の流れもあって、最終的に2人減の20人にすべきとの意見に落ち着きました。

## 賛成討論

- 行政改革が余儀なくされ、地方自治体の健全運営が求められている。議員定数見直しは議員だけでできる一番身近な改革です。
- 合併時の見通しより、人口は減少し、地方交付金の減になつていく。合併特例法が切れる26年度までには、大幅な予算削減が必要。
- いまだに3年前の合併協議会の結論がどうのと言っているが、環境の変化に対応し、改革しなければならぬ。
- 合併協議会では当初22人での合意がなされた。人口の少ない土肥地区に考慮して、26人でのスタートとなりましたが、合併時の民意は22人でした。依って、2人削減の20人にすることで賛成します。

## 反対討論

- 地域の声を行政側に届けることと、行政の施策をチエックするため22人が妥当。
- 合併協で次の選挙は22人と決定されている。それを無視することはできない。市民は削減を望んでいない。
- 市民の声が行政に届かなくなり、行政をチエックするという芽を奪うことになりかねない。一度市民と約束した22人を20人にしなければならぬ理由が理解できない。
- 地方分権が進む今、市民の声を行政に届けるのが議会の役割。議員数を減らしてはパイプが狭くなる。市民にメリットがない。
- 20人の定数は一定の評価はするが、もう一度民意を聞いて、12月議会で結論を出していただきたい。



# 平成19年9月定例会

# 平成18年度 決算を認定

9月定例会が、9月5日から9月25日まで21日間の会期で開かれました。

今定例会では、主に18年度の(\*1)決算審査を行いました。



## 提出議案

### 【平成18年度決算認定】

- ・一般会計歳入歳出決算 14件
- ・特別会計歳入歳出決算 14件

### 【\*1】決算審査とは・・・

- ・議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査します。
- ・各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって行政効果を評価します。
- ・審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に生かされるように努めます。

### 【平成19年度補正予算】

- ・一般会計補正予算（第2回） 他10件

### 【条例】

- ・伊豆市保育所条例の一部改正について 他9件

### 【その他】

- ・静岡地方税滞納整理機構の設立について 他7件

以上、すべての議案等は認定・可決されました。

委員会での質問と主な内容は次のとおりです。

## 一般会計

### ◆合併特例債

質 今まで合併特例債で合計いくら使ったか。今後の予定は。

答 平成18年度までに合計7億1千万円。天城北アクセス道路と火葬場の関係です。

今後2事業にあてたい。特例債適用の全体枠は171億円です。

### ◆市税の滞納

質 市税の収入未済額(\*2)7億7千万円と、不納欠損額(\*3)7,103万円の件数は。

答 延べ滞納者数は3,148人です。年度をまたがって滞納している人もいます。実質的には市内1,259人、市外768人で約2千人が滞納しています。

7億7千万円の内、30万円以上が396人、100万円以上が110人で、この滞納額が4億9,289万円。不納欠損は299人です。競売事件が終了して、配当金が無いことが確定した後に不納



欠損することになっていきます。

(\*)収入未済額とは・・・

・見込んだ収入が実際にはその年度内に納付されなかった額。

(\*\*)不納欠損とは・・・

・市が税、保険料、使用料などを徴収できず、徴収を放棄すること。納税者の死亡や会社などの破産、時効の成立（居住地不明、滞納処分する財産がないなど）などの要件で行われます。

◆在宅高齢者タクシー利用助成

質 利用状況と改善策は。

答 利用券をもらって使わない人もいます。来年度は利用しやすいよう、バスにも使えることなど検討します。

◆敬老会の在り方

質 現在の実施方法に不満も多いが、今後の検討はなされているのか。

答 様々な意見をいただいていますので、アンケート調査の意見が出揃った段階で再検討を進めます。

◆小学校の消耗品費

質 小学校は、消耗品費が前年の約6割だが、18年度の実態は。

答 17年度は、教科書改訂があり、指導書を購入したため多くなりまりました。

18年度は、指導書の購入はありません。また、消耗品費は、年々若干ずつ下がっています。

◆遊具点検委託

質 点検の結果は。

答 市内の小・中・幼稚園の遊具は、毎年2月に点検を行っていました。危険な遊具は3校にあり撤去しました。



元気に遊ぶ子どもたち

◆万天の湯

質 万天の湯と付随するテニスコートは赤字だが、この施設を今後どのように考えているか。

答 この施設は年間約1,400万円の赤字となる見込みです。万天の湯、テニスコートに関して旧中伊豆荘の国民宿舎の用地は、現在、県と交渉中で、契約の中に5年間の指定用途となっており、県は、現在の状況を5年間保つ意向です。しかし、貸付も可能であるという項目があり、弁護士と相談したところ、売買予約という制度が使えないかという話があり、現在売買予約について県と話をしています。

◆指定管理者制度

質 伊豆市として始めて虹の郷が指定管理になったが特に良かった点は何か。

答 一番顕著な点は、予算面です。行政の場合は、予算がないと即対応することがなかなか難しいですが、指定管理者の場合は、その辺は融通が利くので早急な対応ができると感じています。

◆土肥サマーフェスティバル

質 土肥サマーフェスティバルの実績評価と総事業費は。

答 土肥サマーフェスティバルは8月18日から21日までの4日間行われ、主催者発表によると来場者は5万人、宿泊者は1万4,050人ではほぼ満館の状況と聞いています。これを金額であらわすと旅館が1万1,400人、民宿が2,650人で、宿泊単価を旅館2万円、民宿8千円とすると約2億4,900万円の経済効果があつたと言えます。

全体事業費は、2,008万7千円で、これは花火代の他にステージイベント等の経費があります。市からの補助金の差額につきましては、旅館や民宿の協賛金あるいは売店の売り上げ等で賄っていると聞いています。



土肥サマーフェスティバルの花火大会

◆市道廃止調査他

質 市道廃止調査、認定調査はどの予算で作成したか。

答 デジタル化の予算の中で作成しましたが、予算にはありませんでしたが、議会で説明するため、わかるように製本しました。

上水道・温泉事業特別会計

◆中伊豆温泉スタンド

質 中伊豆温泉スタンドの見通しは。

答 ホテルと特養ホームに契約し、給湯は目一杯、数年に一度のポンプの入替えて維持できると思いますが。

◆土肥の上水道

質 土肥の上水道の水源に、一般質問にあった用水は利用できないか。

答 ポンプアップして、高い所の貯水池へ上げているためランニングコストが掛かります。また、水質が悪いため、浄化に費用が掛かります。通常の井戸水を検討中です。

◆八幡新配水池

質 八幡新配水池は2千トンの計画が、何故1千トンに変わったか。また、建設予定地が変わった詳細について。

答 水源の能力、浄水の必要量をシミュレーションした結果、十分足りるとの結論でした。場所は費用の関係で変更しました。



◆中伊豆温泉スタンド  
100リットルで21円です。コインの販売は、中伊豆支所地域振興課で取り扱っています。

国民健康保険特別会計

◆収納

質 国保税の収納率は？

答 収入未済額は3億8,700万円、収納率は76.9%。滞納額が年々増えており、10世帯に1世帯、滞納がある状態です。

◆高額医療費

質 高額医療費はいくら以上が対象になるのか。

答 8万100円以上が高額医療の対象となります。4回目以降から約半分の4万4,400円を超える分に基準が変わります。18年度は2,935件あり、支給額は2億1,631万8千円です。

介護保険特別会計

◆地域包括支援センター

質 地域包括支援センター、18年度はどのような取り組みをしたのか。

答 ケアプランの作成に追われていたのが現実ですが、啓発活動・PR活動も行いました。相談業務、窓口にいる時間が取れなかったこ

とを踏まえ、今年度は社会福祉協議会等の法人から出向してもらい対応しています。

天城ふるさと広場の指定管理者

当施設の指定管理者に、(株)来富(らいと)が指定されました。期間は、平成19年10月1日から、平成25年3月31日までの5年6ヶ月です。この会社の代表者は、今年の3月まで当施設の支配人を務めていました。指定管理料として、19年度のみ409万6千円を(株)来富へ支出します。

◆指定期間

質 今までの指定期間3年間より長くなったがどうか。

答 指定期間は今までより長期にという国、県の指導があったので、今回は5年半としました。

◆天城ドーム

質 天城ドームの開閉修理はどうするのか。

答 天城ドームの開閉設備の修理は合併特例交付金の制度を使って検討し来年度に予算化したいと考えています。



上空から見た天城ドーム

◆市民の利用

質 指定管理にして市民が利用しにくくならないか。

答 指定管理者が経営を優先すると市民が利用しにくいと言われなように、条例どおり市民の使用料は半額ということで不利益は生じないと考えています。

◆資産

質 現在ある資産はどうなるのか。  
 答 当市の決算書に計上されている資産・備品については、全て伊豆市の所有なので指定管理者に所有権が移ることはありません。

狩野川記念公園の指定管理者

当施設の指定管理者に、(株)サンアメニティが指定されました。期間は、平成19年10月1日から平成24年3月31日までの4年6ヶ月です。利用料金制で公募により決定となりました。この期間の指定管理料は、限度額で4,945万6千円です。

今後、利用する場合は、狩野川記念公園で直接利用申込みができます。

←テニスコート

オムニコート3面のテニスコート。隣接するグラウンドはソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフなどとして利用できます。



広場→

広場には、いろいろな遊具があり、休日など小さなお子さんを連れた多くのご家族が、木漏れ日の中、楽しめます。

伊豆市と沼津市との間の夜間救急医療に関する事務の委託の廃止

現沼津夜間救急医療センターが平成19年11月30日に閉鎖するのを機会に、伊豆保険医療センターの夜間急患室の開設等による市内からの患者の減少を踏まえ、伊豆の国市とともに委託を廃止するものです。

市道路線の廃止と認定

伊豆市道路台帳路線再編事業は、合併から3年を経過し、効率的な道路整備及び道路管理のため、旧4町の道路台帳を統合し、現地調査並びに作成要領等に基づき、見直しを行いました。その結果、主に山間地域の幅員1.5メートルに満たない道路や現況のない箇所等の廃止を行い、現状に即した市道路線の整備構築を行うものです。

静岡地方税滞納整理機構の設立

広域連合「静岡地方税滞納整理機構」は、地方税に係る徴収困難

な滞納事案について、財産調査及び滞納処分、構成団体の職員に対する徴収業務に関する研修並びに滞納整理に関する相談業務を行います。

(1) 設立の趣旨

県内17年度地方税滞納額は、市町村税457億円、県税が134億円です。また、19年度税源移譲により推計1,019億円(県・市町村分計)が加わりますと、財源の確実な確保の必要性が増大し、滞納額の一層の増加が予想されます。

(2) 主な業務

地方税の滞納整理を専門に行います。

- ① 徹底した財産調査
- ② 徴収困難事案の滞納処分(差押・公売)
- ③ 市町からの個別相談対応、職員研修の実施

(3) 期待される効果

滞納処分等専門機関の設立により、税の確実な徴収促進によって、税の公平性の一層の確保を推進します。



9月定例会で意見書・決議を採択し関係機関に提出しました。

# 意見書・決議

## 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出

現在、クレジット会社の与信審査の甘さから、年金暮らしの高齢者に対し、支払能力を超える大量のリフォーム工事、呉服等の次々販売が繰り返されたり、年齢・性別を問わず、クレジット契約を悪用したマルチ商法・内職商法その他の詐欺的商法の被害が絶えないところである。このように深刻な被害を防止するため、本年秋には法改正の方向性が示される見込みにある。今回の改正においては、消費者に対し、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、クレジット会社の責任においてクレジット被害の防止と取引適正化を実現する法制度が必要である。よって、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要請する。

1. 過剰与信規制の具体化

2. 不適正与信防止義務と既払金返還責任 3. 割賦払い要件と政令指定商品性の廃止 4. 登録制の導入

〔提出先〕衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・経済産業大臣

## 伊豆市議会行財政改革特別委員会設置に関する決議

市の行財政改革の進捗状況の調査研究と併せて、議会改革について調査検討するため、特別委員会を設置され、以下8名の議員が選出されました。なお、本委員会は平成20年6月定例会までの設置となります。

委員長 鈴木 基文  
副委員長 山下 一  
委員 飯田 正志、  
木内 一郎、  
小野 忠宏、  
木村 建一

委員 鍵山 堅一  
大川 孝

## 行政改革特別委員会最終報告

平成18年12月議会において、行政改革特別委員会が設置され、平成19年1月28日に第1回委員会を開催し、全14回の会議を行った。主な審議内容は、伊豆市集中改革プランの進捗状況（厳しい財政状況の中、いかに自主財源の確保を図り、経費の削減による健全な財政運営への転換が図れるかについての具体的な取り組み）と議会改革の一環として、議員定数について調査・審議を行いました。

### 議員定数の見直し

議会改革については、前行財政改革特別委員会において、平成19年9月議会までに検討すべしと提言された重要課題であり、その大半の時間をかけて議論をした。その結果、次回の一般選挙から定数22人とする合併協議会の決定事項に対して、適正定数は2人減とし、20人にするとの結論に達した。「次の一般選挙から議員定数は20人とする」旨の議案を9月議会に議員

### 検討経過

提案で上程することが合意された。  
(1)人口、面積、財政力状況、近隣自治体の状況、市民感情などを考慮して検討することにした。  
(2)定数の見直しについては削減ありきではなく様々な面から検討をした。

伊豆市は、広大な面積であること、辺地の意見も吸い上げること、必要など、現状維持の意見もあったが、全国的な議員定数削減の流れもあり、削減の方向で検討を進めることで合意された。  
(3)各委員から、20人以下、21人、22人の意見が出されたが、20人を中心に更に検討をした。  
(4)最終的に2人減の「定数20人」とすることが合意された。  
(5)議員報酬についても意見が出たが、函南町同様、報酬審議会に諮ることにした。  
(6)近隣自治体で費用弁償の廃止、削減を打ち出す自治体が出てきており、これについても検討すべきとの意見もあったが検討するにはいたらなかった。

# 市政を問う

## 一般質問

9月定例会での一般質問は、9月6日・7日の2日間に、15名の議員が41件について行った。質問と答弁を要約してお知らせします。

※紙面の都合上、一議員一質問です。詳しくお知りになりたい方は、各図書館・議会事務局で会議録をご覧ください。

### 「教育サポーター」制度の導入は

質問

文部科学省が検討している「教育サポーター」制度は、現役を退いたすぐれた知識や技能を持った人材に、教育現場で活躍していただくための資格制度です。成長過程にある子どもたちが、社会経験豊かな人とかかわることで、より良い影響を受けることができると思うが、市の取り組みはいかがか。

杉山 誠 議員

答弁

現在は、理科の実験の補助などをとする補助員の制度がありました。今回の制度は、新たな制度で、今、国が創設検討委員会を設置した段階ですが、大変すばらしい制度となるような気がします。文部省の検討案が出て、県の動きが明確になった段階で、ぜひ活用していきたいと考えています。

有効に活用したい

### 糖尿病の低年齢化を予防する食育について

質問

糖尿病の低年齢化が問題になっていきます。現在、成人の4人に1人は糖尿病予備軍だともいわれます。糖尿病は遺伝します。その遺伝子を持って生まれてきた子どもたちへの食育（自分で考えて適切に食べものを選べる教育）をはじめ、どの年代を対象に、どのような食育を行っていますか。

室野英子 議員

答弁

各組織の代表者などで構成する食育推進委員会を開催し、情報交換や食育普及推進に努めています。成人、高齢者には生活習慣病や介護予防に着目した食育を実施しています。小中学校は料理教室や、生きいきセミナー、健康相談等実施しているが、「早寝、早起き、朝ごはん」を重点課題にしています。

「早寝、早起き、朝ごはん」を

### 清掃センターの水銀問題の原因は？

質問

原因はわかりましたか。  
森 良雄 議員

答弁

原因の特定には至っていません。現在、施設の中で汚泥が堆積しやすい消化槽の清掃引き抜きを実施し、その後、槽内が安定し、肥料生産が順調になった8月24日に生産した肥料を、現在検査中です。許容基準以下であれば国に報告し、配布を開始したいと考えております。

原因の特定には至っていない





9月8日に行われた伊豆市敬老感謝祭



**敬老感謝祭は、高齢者に感謝を表わす行事か**

**問**

敬老感謝祭は、現在、一箇所で開催されているが、対象者が5,000人になり、一定の年齢制限をせざるを得ない。75・77・80・88・90歳以上の節目が果たして適当か。高齢者一人ひとりが一同に会する機会を喜び合い、毎年、長寿を祝い、生きがいを感じる会であればと願うが、市長のお考えをお聞きたい。

木内一郎 議員

**アンケート調査をして見直しを**

**答**

合併直後の2年間は、3回に分けて実施してきましたが、昨年からは全市一堂に会して1回の開催としました。一堂に会するホールがないため、節目に達した方だけを対象としています。対象の高齢者の方や、区長さん、民生委員の方たちにアンケート調査をし、必要なら来年以降実施方法を見直していきたいと思えます。

**市民に情報の開示を**

**問**

伊豆市の行財政改革を進める上で、市の財政状況、市の人口の推移等々、可能な限りの情報を提示して、行財政改革に、市民の理解と協力を求める事が必要と考えますが、市長の見解は。

加藤 章 議員

**答**

情報を積極的に開示することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、市政への参画を促進し、民主的な市政の発展を目指すものです。財政状況、人口動態等、わかりやすい情報提供に心がけたいと思えます。数字については一人歩きする場合もあり、慎重に対処したいと考えます。

**積極的な情報開示をします**

**「ふれあいパーティー」の成婚率を上げるためには**

**問**

伊豆市としてこれまで「ふれあいパーティー」を8回実施しました。参加人数は延べ男子232名、女子192名で成立カップルは合計53組です。その内結婚したのはわずか2組です。これでは市民の期待も冷めてしまいます。この現状をどう捉え、また、成婚率を上げるため、今後どのような対策をとるのか。

内田勝行 議員

**答**

少子化の問題が社会的に取りざたされている中、若者の結婚離れは深刻な問題です。結婚相談の会が、現状打開に、努力されていることに、心より感謝しております。成婚率を上げる対策ですが、具体的な対策がなく苦慮しています。皆様のご協力をお願いします。

**対策に決め手なく苦慮**

「頑張る地方応援プログラム」について

質問

総務省のこの新規事業は使い勝手の非常に良いプロジェクトと私は考えております。伊豆市として市長はどのようにこのプログラムに参加するのか伺います。

酒井勲一 議員

既存の事業を検証して応募したい

答弁

現在の財政状況から新規事業を立ち上げるのは困難であるため、伊豆市総合計画に基づく既存の事業を検証し、プログラム採択に適合する3つの事業を策定して、9月に行われる第二次募集に応募する予定です。

休日出勤費を代休で賄う

質問

適正職員数に対し3割以上も多い職員を抱えている今日、あらゆる面から経費削減（人件費）を考えなければならない。職務の性質上、休日出勤の多い役所職員の休日出勤費を代休で対応すべきではないか。

三須重治 議員

原則、振替で

答弁

平成18年度の週休日及び、休日の時間外勤務手当並びに休日勤務手当は704万円、17年度は881万円。16年度は865万円でした。週休日の勤務は、時間外勤務手当の削減や休日数の確保から、原則として振替ます。各種行事など、週休日、休日の出勤は、振替休日（代休）で対応するよう、各部署に指示しています。



海の玄関口、土肥港

観光産業充実のため市は何をしたか

質問

観光を基盤産業としている当市で、一括して助成金を出し利用方法は任せるというのでは、行政としての方向が見えません。充実をはかるため、公共の力で整備する必要があるのではないか。国は最近観光に力を入れてきました。静岡空港、「港まちづくり」の受け皿になるためどのようなことを進めたか、業者まかせか。

関 邦夫 議員

自主性を持った活動を期待

答弁

伊豆市における観光産業は、重要な位置をしめています。観光産業は、その時代や人々の嗜好の変化により大きく左右され、変化をいかに捉えるかが重要です。いかに対応できるかが大きな鍵です。19年度からは、観光協会補助金を一括補助としました。自主性を持った活動を期待しています。「港まちづくり」は、県と調整・検討していきたい。





指定管理者となり、利用者が増加している  
中伊豆温水プールふれっぷ



**指定管理者制度、導入後の  
総括について**

**制度導入により支出削減**

**質問**

評価。

①現在の管理者数と内訳、  
制度導入の効果と相対的

②虹の郷や温水プールなど収益の  
生じる指定管理者につきましては、  
18年度の収入も含めて具体的に説  
明願います。

飯田宣夫 議員

**答弁**

管理者数は市内各自治会  
を管理者とする24施設のほ

か、民間事業者や公共団体を管理  
者として、11施設導入し、さらに  
2施設の導入を予定しています。  
効果と評価については、各部署で  
一次評価を開始しています。修善  
寺自然公園は2,300万円の支  
出削減になり、プールについては  
438万3千円の支出削減になり  
ました。

**一般廃棄物処理施設の  
建設について**

**任期中に方向をまとめたい**

**質問**

現在の状況を脱却し前進

させるために、どのような  
方法で進めていくのか。それに伴  
って、職員に対してどのような指  
示をしているのか。それと、タイ  
ムリミットを考えたとき、市長の  
任期はあと7ヶ月、その中でどこ  
まで道筋をつけられるのか。それ  
とも、この施設の建設を最後まで  
責任をもって遂行するのか。

飯田正志 議員

**答弁**

改めて、堀切地区を主体  
に説明や懸念事項などの意  
見交換を積極的に行うよう、検討・  
協議しています。打ち合わせを早  
く行い、地権者との話し合いを行  
いたいと思います。任期中に方向  
性をまとめるようにしたいと考え  
ます。廃棄物処理場は必要な施設  
ですので、早く合意形成できるよ  
う、職員ともども努力します。

**焼却場建設白紙撤回の理由が  
わからなければなぜ聞かない**

**ぜひ、同じテーブルに**

**質問**

6月議会で市長は、堀切

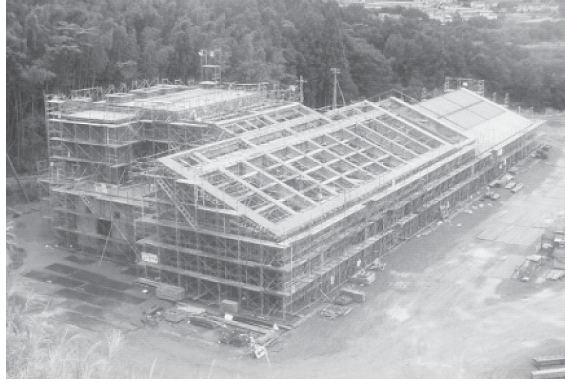
など3地区の総意として提  
出された、ゴミ焼却場建設の白紙  
撤回を求めた理由がわからないと  
答弁。この3ヶ月間、わからなけ  
ればなぜ聞かないのですか。一方  
では、一部住民との会合を持った。  
これは、3地区の総意を無視した  
行為であり、市長自ら問題をこじ  
らせていると思いませんか。

木村建一 議員

**答弁**

改めて堀切地区を主体に  
施設基本構想等の説明や、  
これに対する懸念事項等の意見交  
換など積極的に行うよう、現在準  
備会で検討、協議しています。基  
本構想の説明の申し入れもしてい  
ます。一方通行的にするつもりは  
ありません。堀切地区の地権者、  
地域とこれからもやっていきたい  
と思いますので、ぜひ、同じテー  
ブルについていただきたい。





来年4月の供用開始に向け工事が進む新火葬場  
(9月30日現在の様子)

**中豆斎場の跡地利用に関して**

**質問**

新火葬場の開設に伴い、中豆斎場はその役目を明年4月にも終わろうとしています。今後の跡地再利用に関しては、新斎場完成後に検討することですが、事前に、特に八幡・柳瀬地区住民の声に耳を傾ける必要はないのか。市長の見解を伺いたい。

大川 孝 議員

**提言があれば検討したい**

**答弁**

中豆斎場は昭和54年に建築されました29年が経過し、老朽化も進んでいることから、新火葬場が供用された後は、速やかに取り壊し、整地をする計画であります。跡地利用につきましましては、今後、市及び関係地域などから、跡地の活用に係る計画やご提言がありましたら、検討することを考えています。

**八木沢、小下田地区簡易水道計画について**

**質問**

水不足に不便さを感じ、水質等も非常に悪いとのこと、今後どのような計画を検討しているのか。また、どのような方法や考え方で進めていくのか伺います。

鍵山堅一 議員

**20年度に実施計画の検討を**

**答弁**

いかに安定的で安全な水源を確保するか、市で管理していく上の最重要課題です。安定的というのは、水質を含め水量的にも安定していること。この事を踏まえ検討した結果、八木沢、小下田地区で管理している水道施設の提供も受け、安定的な水量の確保を図った計画を立てるのが経済的にも最善であると考えます。

**駅前周辺整備計画の進捗と交通渋滞緩和策は**

**質問**

この事業は旧町時代から議論検討されているが、一向に見えてこない。鮎見橋から日向方面の整備が進み、中伊豆バイパスのトンネル無料化が迫っている。駅前周辺から横瀬交差点は、大変な渋滞が予想される。一日も早く事業の実行を希望するが、いつまでに出来る予定か。

杉山晃央 議員

**完成は平成25年度を目標**

**答弁**

まちづくり交付金事業での事業化を考え、本年度は3,500万円の予算で調査、検討を進めております。見通しについては関係機関との合意形成を早期に取り付け事業化したい。概算事業費はまだ算出されておりませんが、完成目標は合併特例債の充当可能期間、平成25年度を目標としています。



# 常任委員会の活動報告

## 土木水道常任委員会

① 6月15日に当局に対する所管事務調査を行いました。

今回の調査目的は、『土木部・上下水道部の事業進捗』をテーマとし、今後の委員会審査に資することを目的に行いました。協議に先立ち現地調査を行いました。現地調査後、土木部の建設課及び上下水道部の下水道課下水道課の事業内容や進捗について部課長から説明を受け、質疑を行いました。

主な意見として、伊豆横断道路整備は通行量の調査等資料を十分揃えて計画の作成を図っては、下水道は加入率を上げる検討を。上水道は料金統合の時期方法の早期検討を図りたいとの意見が出ました。

② 7月9日及び8月29日に八木沢、小下田簡易水道組合役員と市への水道移管についての意見交換を行いました。両地区とも管理には苦勞している為、市に全面移管することに同意し、移管委員会を設けて、市と水源確保の為の調査を準備中であると

の意見がありました。(9月議会にて調査についての補正予算が可決されました。)

③ 7月18日は伊豆市建設業組合との意見交換を行い、希望型指名競争入札について市内業者への配慮、入札格付けの評価方法の見直し等の要望があり、その後、当局と今後の入札制度のあり方についての話し合いを持ちました。

④ 7月27日は国道136号線土肥地区地すべり現場の調査を実施した。現場にて県土木の工事担当者から現況説明を受けた後、沼津土木事務所を訪れ、観光シーズンを迎えた時期であるので早期の復旧を要望しました。



関係機関の迅速な対応により、約2週間で通行可能となりました。(土肥新田地すべり現場)

## 観光経済常任委員会

5月、所管の施設の現状について現場視察を行いました。湯の国会館、昭和の森会館、天城温泉会館、天城ふるさと広場。これらは、特別会計ですが、一般会計からの大きな繰り入れで運営されている施設もあります。天城ふるさと広場は、10月より指定管理になりました。その他、中伊豆体験農園、季多楽、万天の湯、恋人岬等を今後の参考とするために視察しました。

7月、長野県飯田市方面に県外視察。飯田市では議員発議による市民が主体の、住みよいまちづくりを推進するために制定した条例、体験教育旅行。飯伊森林組合では、林業活性化の取り組み。岐阜県中津川市では、宿泊施設を兼ね天城温泉会館の何倍もある第3セクター「クリアリゾート湯舟沢」の施設。市営から民営に移管して、赤字が黒字になった経営状況を研修してきました。(県外視察の詳細は次号で)

8月、土肥国道崩落事故対策

と、有害鳥獣被害調査について、委員会を開催しました。

二ホンシカ食害対策として、自民党伊豆市支部が行った倉田衆議院議員、石橋県会議員、飯田茂雄氏(山葵)、石井猛氏(椎茸)、鈴木忠治氏(猟友会)と市、県の関係者との現地視察に同行しました。西伊豆スカイラインでは、熊笹の中に点在しているツゲやマメ桜が枯れ、夏だというのに褐色。また、中伊豆においては、クヌギの新芽がシカに食い荒らされ、壊滅状況でした。スギ、ヒノキの造林により、下草の減少や保水力の低下は、二ホンシカの食害や、崩落等の大きな原因となり、委員会としても放置できず、対策に取り組んでいます。



お茶の新芽を食べに現れたシカ(金山地区で)

# 議会傍聴アンケート結果

9月定例会において、傍聴アンケートを実施したところ、傍聴者17名のうち11名の方に回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

地区名	修善寺地区	9
	天城湯ヶ島地区	0
	中伊豆地区	1
	土肥地区	0
	未回答	1

年齢	30歳代	0
	40歳代	0
	50歳代	1
	60歳代	9
	70歳代以上	1

性別	男性	10
	女性	1

傍聴した回数	初めて	4
	2～3回	4
	4～6回	2
	7～10回	0
	11回以上	1

## ◎ 議会傍聴をして感じたこと ◎

- 議員から重複した質問事項が多かった。時間の短縮、経費節減のために調整すべき。
- 財政困難な市政への質問がなく残念だった。
- 傍聴して市当局と議員の緊張感が感じられた。今後とも伊豆市を良くしていくという団結の心を持って、市政を進めてもらいたい。
- 年金・介護・医療など市民に直接関係することに対する一般質問がなく残念でした。
- 現状の議会は傍聴してつまらない。ほとんどが上程されたまま可決となっている。市の財政を心配するなら否決があってもいいのではないか。議員定数条例の制定についての討論はおもしろかった。

(紙面の都合上、たくさんのご意見・ご感想の中から、抜粋して掲載させていただきました。)

【お詫び】9月定例会においては、多数の傍聴希望のお問い合わせをいただきましたが、台風9号の影響のため、開始時間等に変更があり、傍聴者の方々に大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

## 議会傍聴をしてみませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。

開会当日、天城湯ヶ島支所2階 議会事務局受付へ

お越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

伊豆市議会事務局

電話 0558(85)2606



## 編集後記

菊花薫る秋、一年任期の最終14号の発行です。議会の様子が分かりやすくお伝えでき、努力して参りましたが、いかがだったでしょうか。今回は傍聴者にアンケートを依頼し、ご意見も頂き、ありがとうございます。編集に当たり、議員のパソコン教室が役にたち、原稿のメール送信、原稿の瞬時の訂正など、改めて機器の威力を感じました。

修善寺小学校六年生が熱心

## 12月定例会の予定

場所 天城湯ヶ島支所 議場

時間 午前9時30分

12月5日(水) 議案上程、提案理由説明

10日(月) 一般質問

11日(火) 一般質問

12日(水) 議案質疑

21日(金) 委員長報告・質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので、ご承知ください。



今年11月で任期満了となる編集委員

に傍聴してくれたことや、南陽市(山形)と稲敷市(茨城)の議会報編集委員会の視察を受けたこと、編集に委員全員で力を合わせた日々、良き一年でした。今後も、議会傍聴において頂きたいと思えます。

(委員長 古見 梅子)